

## 平成 25 年度 第 8 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

**開催日時** 平成 25 年 7 月 10 日（水） 午後 7 時～8 時 30 分

**開催場所** 社会福祉協議会宍戸支部会館

**参加者** 市民 30 人

### 《フリートーク（意見交換）》

- 1 信号の設置について
- 2 防犯カメラの設置について
- 3 星山地区の工事について
- 4 ジェネリック医薬品について
- 5 道路整備計画について
- 6 防犯灯について
- 7 池の定期点検と管理について
- 8 宍戸駅のホームについて
- 9 宍戸橋の架け替えについて
- 10 避難所について
- 11 災害時の情報伝達について
- 12 宍戸駅踏切の工事について
- 13 防犯灯の設置について

### 《内容》

#### 1 信号の設置について

##### 【意見等】

上町大沢線の開通後は宍戸小学校交差点の交通量が増え、スピードを出す車も予想されるので、危険だと思う。イオン水戸内原店前の国道 50 号交差点のように「歩・車分離信号」を設置してほしい。

##### 【回答】

ご意見は警察に伝えますが「歩・車分離信号」の設置については、諸条件等があります。市としても課題のひとつとして、勉強していきます。

#### 2 防犯カメラの設置について

##### 【意見等】

通学時の子どもたちの安全を守るためにも、松山団地の出入口や、セイコーマートから松山団地へ向かう通学路など人通りが少ない場所に「防犯カメラ」を設置してほしい。

##### 【回答】

防犯カメラの設置については、現在は人が多く集まる笠間・友部・岩間・宍戸の各駅に設置しております。通学路への設置は今のところ考えておりませんが、今後の課題として検討します。

#### 3 星山地区の工事について

##### 【意見等】

星山地区の造成工事について、いつ頃まで土砂を搬入するのか、最終的には何ができるのか、教えてほしい。

##### 【回答】

残土の搬入については、市から業者に対する指導がうまくいきわたらないことがあり、地元の皆様にはご迷惑をおかけしました。現在、県と連携して搬入に関する改善策を検討しているところです。

当初の利用形態は、総合スポーツセンターの計画でしたが、現在は太陽光発電施設に計画変更されています。事業者側から提出される計画書は、規定にあったものであれば市では受理します。

#### 4 ジェネリック医薬品について

##### 【意見等】

ジェネリック医薬品の成分や効能はどう違うのか、またどれくらい安くなるのか。

##### 【回答】

従来の薬と成分・効能は変わりません。薬品開発のコストが抑えられる分だけ安くなりますが、ジェネリック医薬品すべてが一律に安くなるわけではありません。

使用については自己申請となりますので、医師と相談していただきたいと思います。市では、医療費を抑制する観点から、ジェネリック薬品の使用をお願いしています。

#### 5 道路整備計画について

##### 【意見等】

7月26日に上町大沢線の一部が開通するが、この道路のように、防犯や災害時の対策を兼ねた道路整備が必要と思われる。友部地区の道路整備の計画を聞かせてほしい。

##### 【回答】

今回は鉄道橋の前まで開通し、その先の交差点からこころの医療センターまでは、平成25年度の事業として県が整備を進めます。

上町大沢線のような大規模な道路は、現在整備を進めている道路を除けば、新たに整備する計画はございません。今後は、生活道路の整備にウェイトを置いて進めていきます。

また現在、市内全域の都市計画道路の見直し作業を進めています。当初の計画決定から20年以上が経過し、今後も整備が困難な道路は、市民の皆様にご説明をしたうえで、廃止をすることも考えているところです。

#### 6 防犯灯について

##### 【意見等】

友部・笠間・岩間3地区の防犯灯の設置数に違いがあるのはなぜか。

##### 【回答】

防犯灯は、市で設置管理するものと、市が補助金を出して地区で設置管理するものと2つの種類があります。合併後の数年間は各地区からの要望が多かったため、防犯灯にウェイトを置いた予算措置をして、市全体で約1,500基を設置しました。

各地区の設置数の違いは、地理的要因による必要数の違いから、各地区に応じた設置数となっています。

#### 7 池の定期点検と管理について

##### 【意見等】

宍戸地区は白鳥湖や中池があります。震災時に池の土手が崩れ、池の水が人家に流れ込むことも想定される。昭和13年には土手が崩れ、床上浸水など災害が起きたと聞いている。

これらの池の堰は誰が管理しているのか。また、土手等の見回りなど定期点検は行っているのか。

##### 【回答】

宍戸土地改良区が水源として使用しているため、主体となって管理を行っていると思います。定期点検等の管理をどのように行っているのかについては現状を確認し、見回りをしていただくよう伝えます。

#### 8 宍戸駅のホームについて

##### 【意見等】

宍戸駅は、ホームと電車との間に大きな隙間があり危険である。また高いところでは30センチ程度の段差もある。隙間を埋めることは難しいと思うが、せめてホームを高くしてもらえれば段差が解消されるのではないかと。

### 【回答】

以前、岩間駅も同じような問題がありました。岩間駅については駅舎の改修に合わせてホームの改修を行いました。

宍戸駅はホームのみの改修が難しいかもしれませんが、ご意見があったことはJRに伝えます。

## 9 宍戸橋の架け替えについて

### 【意見等】

老朽化した宍戸橋の架け替えの計画はどうなっているのか。橋の安全性は大丈夫なのか。

また、河川敷に竹が生い茂っているので、洪水時は水の流れを堰き止めてしまうなど、危険を感じる。

### 【回答】

大洗友部線・河川改修・宍戸橋架け替えの3つの工事を同時に行うことを県に要望しています。県でも整備の概要をまとめ、地元で説明する準備を現在進めています。

橋の安全性については、震災後に県で調査した結果、特に問題は指摘されませんでしたので問題ないと思いますが、県に確認します。

河川敷の竹の除去については、水戸土木事務所に依頼しました。

## 10 避難所について

### 【意見等】

以前、一時避難所の看板を市が立ててくれたが、今後も地域からの要望があれば、一時避難所の看板を立ててもらえるのか。

### 【回答】

震災前と震災後とでは状況が変わっています。

震災前は公共施設や公園などに一時避難所を設けていましたが、震災時には体育館等のメインとなる屋内避難所に多くの方が避難しました。

市としては、震災後に設けた6ヶ所の拠点避難所に主要な機能を持たせ、その他の避難所は、各地区の自主防災組織が活動できるように対応をお願いしたいと思います。

## 11 災害時の情報伝達について

### 【意見等】

松山団地でも自主防災組織を結成し、防災訓練も2回実施した。震災時に一番困ったのは、情報の伝達手段である。市からの情報を流す防災無線はよく聞こえない状況であった。

市は、災害時の情報伝達方法をどのように考えているのか。

### 【回答】

今後、自主防災組織については、連絡協議会を立ち上げ、各地区の組織間で情報交換等を行いながら、よりよい組織となるよう進めたいと思います。

市からの情報伝達の手段としては、防災無線や広報車の増車、かさメールの配信など複数の方法で情報を伝達していく考えでおります。

## 12 宍戸駅踏切の工事について

### 【意見等】

宍戸駅の踏切が今年中に広くなると聞いたが、なぜ延期になったのか。

### 【回答】

宍戸駅踏切整備計画については、今年度に測量調査を実施し、来年度に一部用地買収、平成27年度に工事実施となる予定です。

整備内容については、車道の幅員は変わりませんが、新たに片側2.5mの歩道を整備します。

### 13 防犯灯の設置について

#### 【意見等】

大古山のベリオコリナ団地からの通学路は、夕方になると暗く危険な場所が多いため、防犯灯を設置してほしい。

#### 【回答】

防犯灯については、地域を一番よく知っている保護者など、地域の方々から市や学校に情報を伝えてほしいと思います。それらの情報を元に設置を検討していきます。